

1. 活動の概要

5月30日(木)、松江市立古江小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。今回は「金属鏡作りと地域の歴史」がテーマで、6年生2クラスが2～4間目に授業を受けました。

前半はPCとプロジェクターを使用した古墳の説明と鏡の話を聞きました。古墳時代には古江小学校の周辺には大きな古墳があり、また周辺には重要な遺跡があることも分かりました。その後、校区内にある古曾志大谷1号墳から出土した円筒埴輪の破片や、須恵器を見学しました。

後半は、7班に分かれて金属鏡作りを体験しました。金属の塊を鍋に入れて温度を上げると金属鏡が溶け出し、その様子を目にした児童から歓声が上がりました。溶かした金属を鋳型に注ぎ、約10分してから鋳型を開けると銀色をした金属鏡ができていました。その後、鏡面の磨き作業に入りました。磨き作業は思ったより大変だったようですが、みな一生懸命に磨きました。ピカピカになるまで磨くのは大変でしたが、昔の人の苦勞を感じることができたようです。

2. 活動の様子

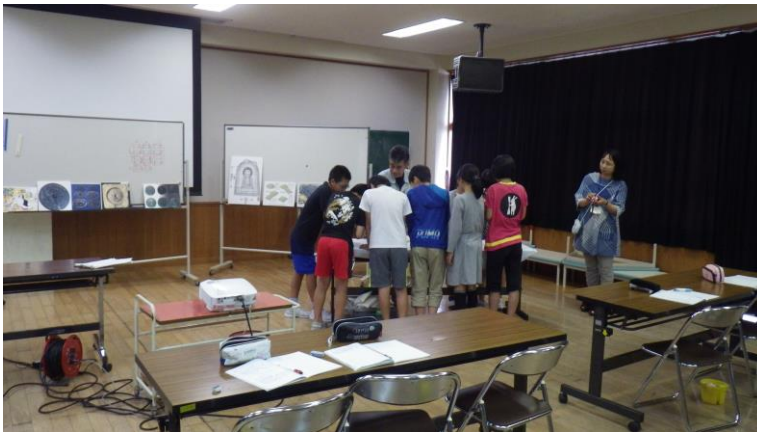
1)古江小学校周辺の古墳の説明



「古江小学校の校区には約100個の古墳があります。」

「古曾志大谷1号墳のある丘からは、中央湖や古墳時代に玉作りが行われていた玉湯町周辺を望むことができます。」

2)地元の遺跡(古曾志大谷1号)出土遺物の見学



「古曾志大谷1号墳から出土した遺物です。」

「赤っぽいのが、円筒埴輪の破片です。青っぽいのが須恵器と呼ばれる土器です。」

3)金属鏡作り



鋳型に溶けた金属を注ぐ瞬間です。緊張の一瞬です。

3. 活動をおえて

1)児童の皆さんから

- ・金属鏡をみんなで協力して最初から作ったことが心に残った。
- ・鏡作りが大変な作業だということが分かった。
- ・まが玉作りや、銅鏡作りをしてみたい。

2)担任の先生から

- ・前半の説明が長く、難しい内容もあった。
- ・映像(画像)や具体例があると、もっと集中できると思います。古墳数や校区のマップは興味をひきました。
- ・自分たちの身近なところに遺跡がたくさんあることを学べた。
- ・金属鏡を実際に作る体験をとおして古代人の様子を想像できた。
- ・HPに教材や資料が載っていて参考になりました。

3)講師から

・今回の子ども塾をとおして地元の文化財や鏡作りの困難さを感じてもらってよかったと思います。進行に当たっては先生のご協力をいただき助かりました。また後片づけを皆さんに協力していただけたことも助かりました。今回子ども塾をとおして、文化財(歴史)のすばらしさや文化財を学ぶ(触れる)楽しさをみなさんと共有できとても有意義に感じました。